

Mizuho Bangkok Daily Market Report

Dated of 2023/08/17

Forex

	Close	CHANGE
USD/THB	35.50	0.12
JPY/THB	0.2426	-0.0004
USD/JPY	146.35	0.78
EUR/THB	38.62	0.04
EUR/USD	1.0879	-0.0026
USD/CNH	7.336	0.012
SGD/THB	26.11	0.07
AUD/THB	22.81	-0.03
USD/INR	82.96	0.00
USD Index	103.43	0.22

Bond

	Close	CHANGE
5Y (THB)	2.443	0.024
10Y (THB)	2.660	0.017
5Y (USD)	4.403	0.031
10Y (USD)	4.250	0.039

Commodity

	Close	CHANGE
GOLD	1,896.1	-6.4
WTI (Oil)	79.38	-1.61
Copper	8,167.0	-32.5

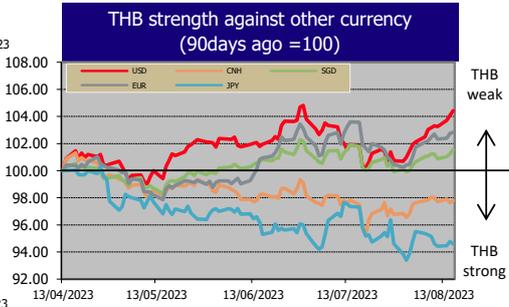
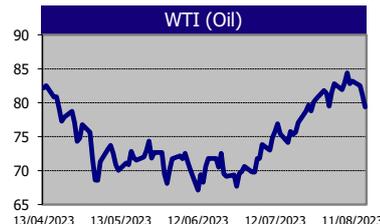
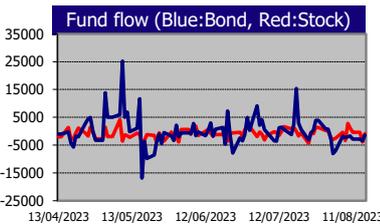
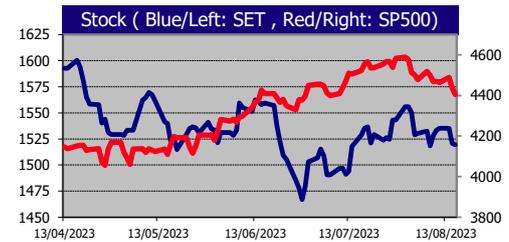
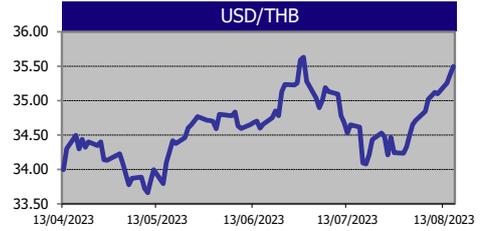
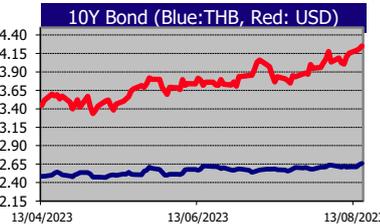
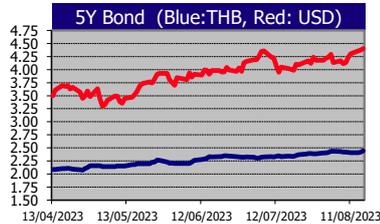
Stock

	Close	CHANGE
SET (TH)	1,519.56	-1.17
NIKKEI (JP)	31,766.82	-472.07
DOW (US)	34,765.74	-180.65
S&P500 (US)	4,404.33	-33.53
SHCOMP (CN)	3,150.13	-26.05
DAX(GER)	15,789.45	22.17

Fund Flow (Overseas Investors)

	Close	CHANGE
Stock net flow	(884)	2931.7
Bond net flow	(1,377)	2032.1

*compared with previous day
(Source: Bloomberg)



Yesterday's market summary

●ドルパーツ

・昨日のドルパーツは小幅に上昇。35パーツ台半ば付近で取引を開始したドルパーツは、人民元の軟調な推移や、朝方公表された前回(8月2日)のタイ中銀による金融政策決定会議事録にて「(同国の)政策金利が長期マクロ金融の安定と一致する水準に近づきつつある」との文言が確認されたこと等を受けて底堅く推移。ただ、バンコク時間午後、タイ首相選出を巡り、前進党ビター党首の首相指名投票への再立候補を認めないとする国会の決議が違憲だとする訴えを憲法裁判所が却下。これを受けて新首相選出に係るプロセスの進展が意識され、パーツ高が進行。一時35パーツ台前半を付けた。海外時間に入り、予想を上回る米7月鉱工業生産や、アトランタ連銀経済予測モデルによる第3四半期米GDP見通しの引き上げ(5.0%→5.8%)等を受けて米金利が上昇。幅広くドル買いが進む中でドルパーツも上昇に転じ、35パーツ台半ばまで値を戻すと、そのまま35.50レベルでクローズを迎えた。

●ドル円その他

・昨日のドル円は上昇。145円半ば付近で取引を開始すると、日経平均株価の軟調な推移にドル円もじりじりと値を下げる展開に。ただ、海外時間に入ると米国経済指標の強い結果やアトランタ連銀経済モデルによる経済見通しの上方修正等を受けて米金利とともにドル円も上昇。FOMC議事要旨(7月25日-26日)では物価が高止まりした際には「一段の利上げが必要になる可能性」を大半の出席者が共有していたことや、「もはや年内に緩やかな景気後退に入るとは見ていない」等の文言が確認され、米金利の上昇は続き、ドル円は一時146円台半ばまで上昇。終盤にかけて上昇は一服したもの、高値圏を維持しながら146.35レベルで引けた。

Bangkok Dealer's Eye

今週は中国で一連の経済指標が発表されたが、いずれも期待を裏切る数字となり、同国の経済減速に対する懸念が高まっている。中国人民銀行が中期貸出制度(MLF)1年物を予想外に引き下げたことは昨日の当欄でも触れられていたが、同日8/15に発表された7月小売売上高がかなり不調(予想:前年比+4.0%、実績:同+2.5%)だったほか、調査方法見直しを理由に高止まりしていた若年失業率(6月21.3%)の公表が7月から停止されたこともあって、同国の深刻な状況を疑う雰囲気も漂う。他方米ドルは8月も堅調地合いとなっており、結果、人民元は足許で元安基調を強め、昨年記録した変動相場制移行後の最安値水準(7.32台)に近づいてきているが、最近では複数の国有銀行がドル売り人民元買いを実施しているとの話も聞かれ、昨日も7.30手前で明らかに不自然な動きを見せている。昨日米国で公表されたFOMC議事要旨では追加利上げの可能性が示唆されるなど米ドルの勢いが止まりそうもないなか、人民元は転換点を迎えられるか、パーツの行方を見定める上でもその動向には注意しておきたい。(吉田)

The report is prepared for the sole purpose of information only. It is not an invitation to trade. The writer's view expressed herein would not be substituted for the exercise of rational judgement by the recipients.